

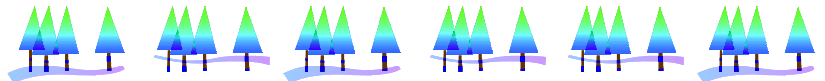


1月の聖句

わたしはぶどうのき、あなたがたはそのえだである
ヨハネ15章5節

1月のさんびか

かなしいことがあっても こどもさんびか改訂版131



やってみたい

新年早々、長い揺れを感じました。元旦、帰省、旅行…。子ども達は？ご親族は？と次々頭をよぎりました。被災地の方々どうかご無事で、と祈るばかりでした。続く飛行機事故…。状況が明らかになるにつれ、無念で苦しく、言葉がありません。救助を求める人々に一刻でも早く必要な支援や医療が届きますようにと切に願います。現地へ動けなくとも、できることで何とか誰かの力になりたいです。

何年か前にも紹介した「最後だとわかっていたなら」(ノーマ コーネット マレック作/佐藤睦:訳)折に触れ読んできましたが、この度改めて読み返しました。時には、今この出会いが最後になるかもしれない、と思いを込め、誰かと過ごすこともあるでしょう。こうして心の隅にこのフレーズがあるだけで、他者と出会った時、この詩と出会う以前より、今この瞬間を大事にしようと思うようになりました。でも、人間弱いので、あれほど涙を流し、後悔したのに、またいつの間にか元の木阿弥(もとのもくあみ)、忙しさにまかせ、漢字の文字通り、心を亡くしている自分に気づき愕然とします…。思い新たに、大切な人にちゃんと思いを伝えられるよう、今、を大事に生きよう。

1月には毎年防災訓練があります。訓練時以外でも日常的に防災について取り組むよう心がけています。大阪北部地震も、ライフラインの復旧には差がありました。被災して心も身体も凍えそうな時に「温かいと感ずること」は何？ほっとするのはどんな時？身体が温かくなる遊び、心が嬉しくなる遊び、皆はどんな遊びが好き？と考え合う、身体を寄せ合う、抱きしめ合う、手を擦り併せる、冷たい指に温かい息を吹きかける、段ボールや新聞、画用紙、アルミシート、色んな紙を実際にまどって温かさを体感する、空腹時に一人で一つを充分食べるのと数人で分け合い少しずつ食べるのではどう違う？と考える、唯傍に居ること、挨拶や笑顔の魔法に気づく、泣きたいときには泣いてもいいと知る…。子ども達はどんな意見をどんな表情で言うだろう？小さな体験がいつか子ども達の支えや励ましになることを願って今年も色々やってみようと思います。辛いこと、苦しいこともあります、バラード調の今月の讚美歌 ♪ 悲しいことがあっても 泣きたい時にも いつもいつも君のこと 守ってくれるだろう イエスさまがきて×3 守ってくれるだろう… ♪とロずさみながら、問いかけながら、神さまに繋がって歩いていけたらと思います。尊い命や魂が愛する人の心で生き続けられるよう、苦難の渦中から、いつかは笑顔にと希望をもって、お互いをそばに感じ、支え合っていきたいですね。【園長】